

お申し込み方法

公益財団法人中国地域創造研究センターHPの申し込みフォームからお願いします。
また、下記「参加申込書」にて、E-mailでも受け付けています。(担当:藤原、渡里、前川、加連)

URL: <https://crirc.jp/data/event/2020/09/2233/>
E-mail: kansei@crirc.or.jp TEL: 082-241-9941



参加申込書

※必要事項をご記入ください。
※参加希望者が多い場合は、コピーしてご利用ください。

申込締切
2020年10月23日(金)

会社名			
住所	〒		
所属・役職	研究開発部 技術課長		
1 氏名(ふりがな)	中創 太郎 (ちゅうそう たろう)	TEL	MMM-NNNN-HHHH
E-mail	〇〇〇@▽▲▲.jp	参加項目*	講演会 / WEB / 会場 / 展示会WEB
所属・役職			
1 氏名(ふりがな)	()	TEL	
E-mail		参加項目*	講演会 / WEB / 会場 / 展示会WEB
所属・役職			
2 氏名(ふりがな)	()	TEL	
E-mail		参加項目*	講演会 / WEB / 会場 / 展示会WEB
所属・役職			
3 氏名(ふりがな)	()	TEL	
E-mail		参加項目*	講演会 / WEB / 会場 / 展示会WEB

※ 皆さまからいただいた個人情報につきましては、今回の感性サロンのために使用させていただきますが、今後、国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター、ひろしま感性イノベーション推進協議会、公益財団法人中国地域創造研究センターが主催する事業のご案内に限り使用させていただくことがあります。

会場案内《交通機関など・手段・所要時間》

■ 会場/県立広島大学サテライトキャンパスひろしま
広島市中区大手町1-5-3(501/502)講義室

【JR広島駅より】南口・在来線口

● 路面電車

1系統(広島港[宇品]行き)or7系統(広電本社前行き)「本通」下車徒歩約5分
2系統(宮島口行き)or6系統(江波行き)「紙屋町西」下車徒歩約5分

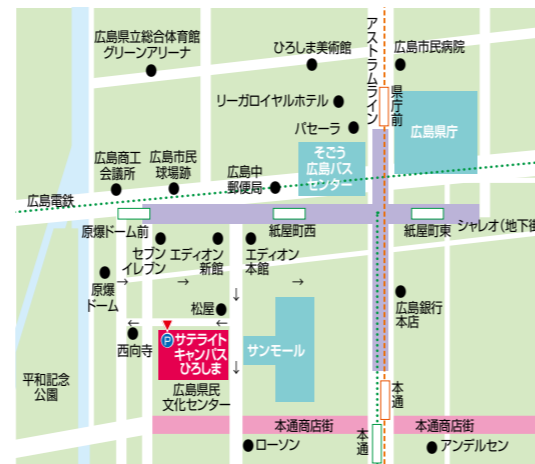
● バス

広島バスセンター経由便「広島バスセンター」下車徒歩約5分
本通り経由便「本通り」下車徒歩約5分

【アストラムライン「本通」駅より】徒歩約5分

【自動車】地下駐車場:31台/30分毎170円

※高さ 2.20m×幅 2.50m×長さ 5.5m までの車両



(出典)県立広島大学サテライトキャンパス広島ホームページ



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

<https://www.jka-cycle.jp/>

開催案内

2020年度

お客様の感性に響く
商品・サービス開発

KANSEI “感性”サロン

～新たな時代を「感性」で切り開け、地元企業の取り組み最前線を紹介～

質感や色感などの人間の持つ“あいまいな感覚”を科学的に分析し、顧客やユーザーの感性にあった高い価値を持つ商品の開発やサービスの向上を図る取組を広く紹介するとともに、産学官の交流の場として、感性サロンを開催します。この機会に人の「感性」を開発につなげることに興味をお持ちの多数の皆様のご参加をお待ちしております。

- 昨今のコロナ禍の中、WEBを活用して、①「講演会」、②「展示会」、③「産学官交流」を個別に開催し、
- ①講演会では、魅力ある商品・サービス開発を生み出す感性や顧客獲得への意識等についてご紹介
 - ②展示会では、各企業から商品PRや今後力を合わせて取り組みたい情報等を発信
 - ③展示会内容から専門家の協働意向を踏まえた、企業とのマッチング

につながるプログラム構成としています。

2020年
10月29日(木)
13:00~17:20
(WEBログイン/受付12:30~)

2020年
10月30日(金)
13:00~17:20
(WEBログイン/受付12:30~)



〈主催〉

国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター、ひろしま感性イノベーション推進協議会、
公益財団法人中国地域創造研究センター

〈後援(予定)〉

中国経済産業局、広島県、広島大学脳・こころ・感性科学研究センター人間拡張学部門、
(一社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国本部、日本感性工学会、(一社)日本人間工学会、
ひろしま自動車産学官連携推進会議 感性専門部会、(国研)産業技術総合研究所人間拡張研究センター

日時・会場等



【日 時】2020年10月29日(木) 13:00~17:20 (WEBログイン/受付12:30~)
 【開催方法】ZoomウェビナーによるWEB講演会開催
 【会 場】県立広島大学サテライトキャンパスひろしま(501/502講義室)
 (広島市中区大手町1-5-3)
 【募集数】WEB参加80名、会場参加40名(先着順) ※WEB/会場のいずれかでお申込みください。
 (会場の参加も可能です)
 【参加費】無料



【日 時】2020年10月30日(金) 13:00~17:20
 (WEBログイン/受付12:30~)
 【開催方法】ZoomウェビナーによるWEB展示会開催
 ・ホスト(事務局):(公財)中国地域創造研究センター
 ・パネリスト(参加企業):10社各拠点から参加(25分/社)
 ※開催後、11/2(月)~11/9(月)を投票期間として、参加・情報発信した
 企業への、研究者が持つ協働の意向を把握。後日、個別に、
 企業-研究者間の話し合いのためのWEBミーティングを開催
 =【産学官交流プログラム】
 【募集数】WEB参加80名(先着順)
 【参加費】無料



セキュリティ
確保等のため
次の事項に
ご協力ください。

★WEB参加上の留意事項

- ・参加受付連絡のID、PWは、本人のみの使用とし**第三者への開示を禁止**します。
- ・講演内容の動画・音声の**録画・録音を禁止**します。
- ・講演の**妨害行為、ルール違反**があった場合は、**退出**いただく場合があります。
- ・使用予定のツール(Zoom等)の**動作環境**等は、参加者**各自**で整えてください。
- ・参加時のログイン名は、**氏名もしくは参加受付番号**を使用してください。
- ・講演内容に対する**質問**は、質疑応答の際に**チャット機能**により行ってください。
 ※事務局にて内容を確認のうえ、**司会者**が代表して**質問**します。
- ・WEB講演会・展示会参加者は、上記の条件を理解・同意したうえで参加してください。



主催者の活動紹介



国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センターは、公設試験研究機関等との連携を通して、我が国の産業の発展に貢献することを目的に産業技術連携推進会議中国地域部会を運営しています。当部会の感性創造3Dものづくり研究会の活動として、この度、公益財団法人中国地域創造研究センター、ひろしま感性イノベーション推進協議会と共催で、当サロンを開催します。



WEB講演会プログラム

1 開会挨拶 (13:00~13:05)
 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中国センター

2 講演1 (13:05~14:00)
 「食の認知科学を広げる」
 立命館大学 食マネジメント学部 教授 和田 有史 氏



和田 有史 氏

3 地元の取組事例 (14:00~15:05)
 「人間拡張学部 感性地域実装ラボのご紹介~感性によるものづくりの大切さ」
 広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 人間拡張学部 部門長 兼
 広島大学 大学院工学研究科 教授 栗田 雄一 氏
 広島大学 学術・社会連携室 特任教授 農沢 隆秀 氏
 「光を見出す牡蠣のごちそう缶プロデュース」
 よしの味噌(株) 代表取締役 野間 雅則 氏
 コニカミノルタ(株) 浦谷 勝一 氏/井上 暁 氏



4 講演2 (15:10~16:00)
 「Calbee Future Laboの挑戦」
 カルビー(株) Calbee Future Labo
 クリエイティブディレクター 山邊 昌太郎 氏



山邊 昌太郎 氏

5 講演3 (16:00~16:50)
 「顧客満足度の高い商品開発のために」
 (株)まちづくり三原 統括マネージャー 滝口 隆久 氏



滝口 隆久 氏

6 地元の取組事例 (16:50~17:20)
 「『kasane』の海外販路開拓
 ~桧皮パネルの国内外でのユーザー評価~」
 (有)ひわだや 専務取締役 佐々木 綾子 氏



WEB展示会プログラム

応募企業名は別途ご案内
 企業1~10(1社発表20分/切り替え5分)

産学官交流プログラム

研究者の協働意向を集約し、別途、個別にご案内



ひろしま感性イノベーション推進協議会(事務局 広島県商工労働局)は、人間のもつ“感性”という新たな価値軸を活用した製品の差別化による高収益構造の実現に向け、感性工学や人間工学等を取り入れたものづくりを推進しています。現在、約200社・機関の会員に向けて、感性イノベーション講座の開催や専門家等とのマッチング支援、モニター調査・解析支援等の活動を行っています。



公益財団法人中国地域創造研究センターは、中国地域の産業の活性化を図るため、質感、色感、風合いなど感覚的であいまいな部分を科学的に分析して商品開発やサービス向上に取り組む企業を2011年度から支援しています。現在、「質感色感研究会」では13社の企業が、専任の研究者の個別指導と定期的に開催する研究発表会での他の研究者や参加企業と意見交換を行いながら課題解決に取り組んでいます。